

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち
自宅の災害リスクと、とるべき行動を
確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

洪水ハザードマップ※1で自分の家がどこにあるか確認し印をつけてみましょう。

※1 洪水ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。



はい

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地などにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、

- ① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域※2の外側である。
 - ② 浸水する深さよりも高いところにいる。
 - ③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある。
- ①から③の場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

また、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

※2 裏面に記載の愛知県のウェブサイトで洪水浸水想定区域図を確認してください。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル3が出たら、市が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル4が出たら、市が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

避難行動判定フローの参考情報

洪水ハザードマップの見方

必ず確認してください



凡例

洪水により
水の浸かる深さ



ハザードマップポータルサイト

検索



洪水ハザードマップの見方

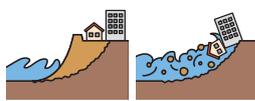
もっと詳しく知りたい人向け

次の3つが確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です。

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか

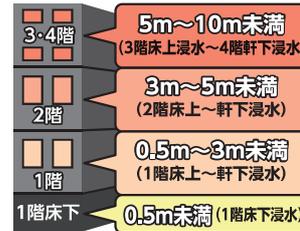


流速が早いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります



地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

② 浸水深より居室は高いか



③ 水がひくまで我慢できるか、
水・食糧などの備えは十分か



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や、③浸水継続時間については、愛知県の洪水浸水想定区域図 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuisotei-02.html> で確認してください。なお、重ねるハザードマップには記載がありません。



警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう



「避難」とは「難」を「避」けることです
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません



避難先は小中学校だけではありません
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

※緊急時に身を寄せる避難先は、市が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

※「指定緊急避難場所」は、災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。(小中学校の校舎など)

※災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難所(小中学校の屋内運動場など)」に行きましょう。

このリーフレットは、下記を元に作成しています。

(参考) 内閣府防災ホームページ「令和元年台風第19号等による避難に関するワーキンググループ」
<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/index.html>

【お問い合わせ】一宮市役所総合政策部危機管理課 TEL : 0586-28-8959